

2025年度
八戸学院大学
健康医療学部 人間健康学科
総合型選抜 テーマ2

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かない。
- 2 筆記用具は黒色の鉛筆またはシャープペンシルを使用する。
- 3 問題冊子に印刷不鮮明、ページの落丁などがあるときは、手を挙げて監督者に伝える。
- 4 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
- 5 問題冊子は持ち帰ってよい。

テーマ 2

毎年実施されている幼児、児童および生徒を対象とした健康診断の結果に基づいて、文部科学省により行われている学校保健統計調査によると、2006 年度以降減少傾向にあった肥満傾向児の出現率が、近年増加傾向にあることがうかがえます。（図 1）

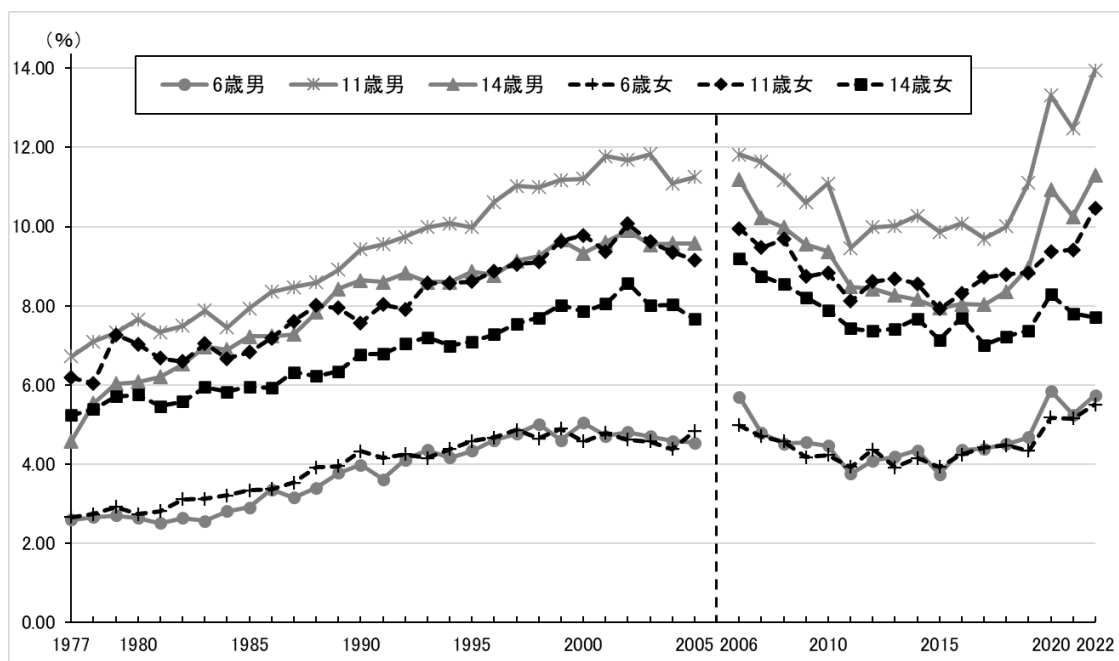


図 1. 肥満傾向児の出現率の推移

（令和 4 年度学校保健統計調査 年齢別 肥満傾向児の出現率の推移（昭和 52 年度～令和 4 年度）データより作図）

（注）肥満傾向児とは以下の者を示します。

1. 1977 年度から 2005 年度は、性別・年齢別に身長別平均体重を求め、その平均体重の 120%以上の者。
2. 2006 年度からは、以下の式により性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が 20%以上の者。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100 (\%)$$

このように 2006 年度以降減少傾向にあった肥満傾向児の出現率が、近年増加傾向にある要因を数点あげてください。そしてこのような児童、生徒の肥満を防ぐために、各地でどのような取り組みが行われているか新聞等で調べ、あなたが印象に残った記事等の内容を紹介してください。その上で紹介してくれた取り組みをさらに良いものにしていくためにはどのような改善を加えるべきか、あなたの意見を述べてください。字数は 600 字から 800 字程度とします。

